毎日新聞
とうぶまいにち
1月20日（水曜日）
2016年（平成28年）

第11回草加ミュージック・フェスティバル

１月31日（日）草加市文化会館・全館

【ロビーライブ】15:10～【1部】16:00～【2部】17:20～

93年に「音楽都市」を宣言した草加市文化会館で1月31日、恒例の「草加ミュージックフェスティバル」（実行委、市など主催）が開催される。地元ミュージシャンの育成と、音楽による「草加のまちづくり」を目標にスタートしたフェスは、今年が11回目。これまで多彩なジャンルを手掛けてきたが、今回のテーマはラテン音楽の「サルサ」。特別ゲストとして著名なサルサ演奏グループのボーカル、NORAさんを迎える。

メーンゲストはサルサの第一人者 NORAさん

フェス実行委員長の長谷部健一さんは「みなさんに明るいリズムカルなサルサを、気楽に楽しんで戴ければ」と話す。

◇スケジュール◇

【30日　前日祭】

●総選挙（演奏コンテスト）15～20時、3F

5アマバンドが参加。

【31日　当日祭】

●ライブ・15時10分～、ロビー

獨協大OLFM&ゴスペル。

●1部・16時～、大ホール

昨年総選挙で優勝した「サイガース」演奏&地元「いなせ連」による阿波踊り。

●2部・17時20分～、大ホール

NORA&スペシャルラテンユニット演奏（サルサを中心に約10曲）

料金は18歳以上が前売2500円、当日3000円▽高・中・小学生が前売&当日とも500円。問合せ&チケット申込みは、実行委048・924・9244▽Sugarhill048・927・7489▽文化会館048・931・9977（チケット専用）。

昨年のフェス　撮影・塩谷宗一

謹賀新年
本年もよろしくお願い申し上げます
埼玉東部毎日会
会長 小林秀臣

発行元
埼玉東部毎日会第1支部
発行所
埼玉県越谷市花田5-2-12
（毎日新聞越谷東部販売所内）
TEL 048-967-4515
FAX 048-967-4516
編集長　飯嶋英好
発行部数 50,000部
発行エリア
三郷市・草加市・八潮市
吉川市・越谷市・松伏町

税のよろず相談所です
Life & Company Assist
税理士法人
L&Cアシスト
草加市住吉1-4-12-101
☎048-924-9244

みんなで育てよう草加サウンド！

草加市にあふれる音ーハープ、ピアノ、ふささら、皮革、せんべいー等を育てようと、同フェス実行委がステッカーを作成した。無料配布中。http://www.soka-music.com/

学校法人 ワタナベ学園
保育と福祉を通じて
地域の皆様に貢献します。
越谷保育専門学校
幼稚園教諭保育士養成学科
入学願書受付中
文部科学大臣
厚生労働大臣 指定校
職業実践専門課程 認定校
埼玉県越谷市東越谷 3-10-2
TEL:048-965-411
吉川福祉専門学校
（2016年4月東洋医療福祉専門学校より校名変更）
介護福祉科
入学願書受付中
厚生労働大臣 指定校
埼玉県吉川市保 1-21-7
TEL:048-984-4701
認定こども園 越谷さくらの森
越谷保育専門学校附属幼稚園
越谷保育専門学校附属城の上保育園
認定こども園 みさとさくらの森
越谷保育専門学校附属みさと団地幼稚園
越谷保育専門学校附属みさと団地保育園
認定こども園 戸頭さくらの森
戸頭幼稚園
戸頭さくら保育園
越谷保育専門学校附属吉川幼稚園
霞ヶ関幼稚園
柏ひがし幼稚園
学校法人 ワタナベ学園本部　埼玉県吉川市保1－21－7　TEL048-981-0611

笑顔を届けるフラ部

武蔵野星城高校（越谷市）

武蔵野星城高のフラ部。慰問や各種イベントの出演依頼で人気が高い。

越谷市七左町3、学校法人小池学園武蔵野星城高（野呂しのぶ校長、生徒数430人）には県内の高校では唯一のハワイアンフラ部がある。2014年夏から福島県いわき市で開かれる文部科学大臣杯争奪全国高等学校フラ選手権（フラガールズ甲子園競技大会）に出場しているが、最近は県内の福祉施設や街のイベント会場からも出演依頼があり、脚光を浴びている。

フラ部の部員は7人。顧問の安生菜津美先生の指導で放課後の毎週2回、みっちり2時間練習に励む。ハワイアンの「Kaimana Hila」「Love Light」やJ-POPの「花は咲く」などの曲を流しながら、みんなでムーブメントを揃える。細かな腕や手先まで神経を使うが、こぼれるような笑顔は絶やさない。動きに海、花、月などのイメージを込め、人々に優しい気持ちを優雅に伝える。

幼稚園・老人施設の慰問 大型店舗のイベント出演

練習後、3年の砂川栞莉さん▽長南あかねさん▽田端絵理さん（いずれも17歳）の3人は、「慰問先で、笑顔が見られるのがうれしい。ダンスが好きなので、できればフラをずっと続け、みている人に笑顔を伝えていきたい」と話してくれた。

部活としての結成は2年前。例年、慰問や出演の依頼は、甲子園大会後の秋以降に増える。慰問先は越谷、川口市の老人ホームをはじめ、幼稚園・保育所の運動会、さいたま市の大型店イベントなど多彩だ。

長いフラ歴を持つ野呂校長は、「フラは人間育成に役立つうえ、人前でパフォーマンスすることで性格が明るく、自信もつく。『子どもが積極的になった』と喜ぶ両親も多い。介護士志望の生徒には福祉施設での慰問体験が、将来役立つと思う」と話す。

ISO9001（品質）／ISO 14001（環境）認証取得
明日の夢を創る
TAKAMOTO 髙元建設株式会社
代表取締役 髙橋和彦
〒343-0811 埼玉県越谷市御殿町2番11号 TEL048-966-1661(代)
FAX048-962-1661 ホームページ http://www.takamoto-cnst.co.jp/

大掛かりなすす払い

彦倉虚空蔵尊（三郷市）

通称「彦倉の虚空蔵さま」で親しまれている三郷市彦倉1の古刹、真言宗明星山延命院（石井秀誉住職）で12月13日、檀家を中心とした奉賛会のメンバー24人によるスス払いが行われた。

半纏姿の沖良男会長らは、長さ約5㍍の「ササ竹」を手に虚空蔵堂（市指定文化財）の軒下や外壁に付いたほこりを払い、山門や鐘楼堂、水屋なども布類で手寧にふき取った。虚空蔵菩薩像が安置された堂内は、石井健誉副住職が清めた。

スス払いはこれまで檀家有志で実施されており、今後、奉賛会として年末の恒例行事にする予定。

石井住職は「スス払いは単なる大掃除ではない。年間の厄を払う大切な折り目で、すがすがしい気持ちで新年を迎えることができる」と話す。

本尊の虚空蔵菩薩像（三郷市文化財指定）は文明18年（1486年）に古利根川の洪水の折り、奥利根の上流から流着し当山に滞留したのが始まりと、縁起に記されている。

本堂で1年のススを掃う奉賛会の人たち（中央が石井住職）

あとがき

今回、県東南部5市1町の市長、町長さんに集まっていただき、「新春を語る会」を開催させていただきました。各自治体の状況を話し合ってもらおうと企画した訳ですが、開催前は「ほかの首長さんとの同席では『言いづらいこともあるのかなぁ』」とやや危惧しました。しかし、ふたを開けてみると、みなさん和やかに語ってくれました。

こちらで用意した5つのテーマのうち、「地方創生戦略プラン」については、紙面の都合で割愛した。項目のみ列挙すると－。産業活性化・雇用創出、子育て、安全な暮らし（草加市）▽雇用・子育て・都市基盤整備（八潮市）▽流山橋早期実現・外環道全面開通に伴うまちづくり・教育及びスポーツ環境整備（三郷市）▽新市街地（田島地区）の整備と企業誘致（松伏町）▽吉川美南駅東口開発による人口増を含めた「住民の幸福度」を高める政策（吉川市）▽人口減に備えた晩婚化高齢化対策・レイクタウンとのコラボによる観光及び産業振興（越谷市）。

テーマ「合併」では、各自治体の立ち位置や首長さんの微妙なニュアンスが伝わり、興味深く拝聴しました。

編集長　飯嶋英好

邦楽弾き始め　谷塚ドロップス

草加市役所本庁舎の1階ロビーで仕事始めの4日、箏曲演奏があり、来庁した多くの市民が優雅な調べに耳を傾けた。演奏は、邦楽愛好会「谷塚ドロップス」の喜多恭代代表と大学生の喜多浩之さん、柴田彩貴さんの3人。琴とバイオリンで「さくらさくら」「鷹」「春の海」を披露、聴衆から盛んな拍手が送られた。